

童謡「どんぐりコロコロ」の作曲者

梁田 貞

♪どんぐりコロコロどんぶりこ……多くの人に親しまれている童謡「どんぐりコロコロ」の作曲者『梁田貞先生』を紹介します。

梁田貞は明治十八年（一八八五年）七月三日に開拓使本庁の官舎で生まれ、小さいころから音楽に親しんで音楽家への夢を持ちました。創成小学校（現資生館小）、札幌中学校（現札幌南高）を卒業し、一時札幌農学校（現北大）などに在籍の後、四十二年（一九〇九年）に東京音楽学校（現東京芸術大学）に入學して音楽を学び、テノール歌手として将来を囑望されました。しかし、結局は音楽教育と作曲の道を選び、大正七年に研究科作曲部を修了しています。

梁田は在学中から東京府立第一中学校（現日比谷高校）の囑託教員となり、卒業後には母校の東京音楽学校や玉川学園などの教師として終生音楽教育に携わりました。没後に「音楽教師」という映画にもなりましたが、生徒たちからはその風姿から「ライ

オン先生」と呼ばれて慕われました。

この間、「城ヶ島の雨」とんび」「昼の夢」など数々の名曲を作曲しましたが、「どんぐりコロコロ」は大正十年の作品です。

梁田は昭和三十四年五月九日に東京都でその生涯を終えました。それから九年後の四十三年の命日の日に、母校の創成小学校（現資生館小学校）の校庭に彼をしのぶ人たちによって『梁田貞先生』の胸像と「どんぐりコロコロ」の五線譜を刻んだ碑が建てられました。

（平成六年十一月号・第十六回）



母校の子供たちを見守る先生